

(仮訳)

プレス・リリース

2023年9月11日

中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループは、最近の銀行を巡る混乱に対する取組みを承認し、バーゼルⅢ実施を優先することを再確認

- バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）の上位機関は、最近の銀行を巡る混乱から得られた教訓をストックテイク。
- 監督の実効性を強化することを優先すること、追加的な分析作業を行うこと、政策オプションを探求する必要性について中期的に評価することといった、最近の混乱に対する取組みを承認。
- バーゼルⅢの実施の進展を歓迎し、バーゼル枠組みの全ての要素を完全かつ整合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を改めて表明。

バーゼル委の上位機関である中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループ（以下「GHOS」）は、9月11日に会合を開催し、最近の銀行を巡る混乱から得られた教訓をストックテイクするとともに、未実施のバーゼルⅢ基準の実施状況をレビューした。

銀行を巡る混乱からの教訓

2023年3月から5月にかけて発生した銀行を巡る混乱は、その規模と範囲において、世界金融危機（GFC）以降で最も深刻なシステム全体に亘る銀行へのストレスとなった。個々の銀行が経験したストレスは、その原因はそれぞれ固有であるものの、広く銀行システム全体の強靱性を評価する契機となった。公的当局による迅速な介入は、GFC以降のグローバルな銀行システムの強靱性の高まりと相まって、最近の混乱の影響を緩和した。

これを受けて、バーゼル委は、最近の混乱からの規制・監督上の教訓に関するストックテイクを完了した。GHOSは、以下の点を強調したバーゼル委のストックテイクを承認した。

- 財務上及び業務運営上の強靱性の第一の、そして最も重要な源泉としての、銀行のリスク管理実務とガバナンス態勢の重要性。
- 銀行の安全性と健全性を監視する上での強力かつ実効的な監督の役割。監督当局が銀行の実務における弱点を特定し、速やかにそれらを是正するために、早

期かつ実効的に行動することが重要。

- 金融の安定を守るための、健全で頑健な規制枠組みの決定的な重要性。

GHOS は、バーゼル委のストックテイク報告書を公表することに合意した。

GHOS はまた、最近の混乱がバーゼル委の作業計画に与える影響について議論した。

GHOS は、以下を含む一連のフォローアップの取組みを承認した。

- 監督の実効性を強化するための作業を優先し、グローバルなレベルで追加的なガイダンスに値する可能性のある論点を特定する。
- 流動性リスクや銀行勘定の金利リスクなど、バーゼル枠組みの特定の要素が最近の混乱の間に意図したとおりに機能したか否かを評価するために、実証的根拠に基づく追加的なフォローアップの分析作業に取り組む。

バーゼルⅢの実施

すでに実施されたバーゼルⅢ改革は、世界の銀行システムと実体経済をより深刻な銀行危機から守るのに役立った。これらの出来事は、未実施のバーゼルⅢ基準を実施することの重要性を再び強調した。

GHOS は、2017 年に最終化された未実施のバーゼルⅢ改革について、その実施状況をストックテイクした。バーゼル委メンバーは、実施について、良い進展を続けてきた。約3分の1のメンバー法域は、すべての、または大半の基準を実施しており、3分の2は 2024 年末までに、残りの法域は 2025 年に実施することを計画している。

GHOS メンバーは、バーゼルⅢ枠組みのすべての要素を完全かつ統合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を全会一致で再確認した。GHOS は、バーゼル委に対して、バーゼルⅢの完全かつ統合的な形での実施を引き続きモニタリングし、評価するよう指示した。